

留意事項

- ◆ どのメニューに申し込めばいいかわからない場合は、ご相談ください。
- ◆ 内容のアレンジを希望する場合は、申込書の『⑤. 講義に関する要望』欄に必ずその旨と具体的な内容を記入した上で、直接運営事業者と調整してください。内容によってはご対応できない場合もあります。
- ◆ 現地で体験を行うメニューについては、事前に運営事業者が伺って、研修内容の説明・調整を行うことがあります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためご協力をお願い

- ◆ マスクの着用、検温、こまめな手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- ◆ 37.5℃以上の発熱のある方、新型コロナウイルス感染症の感染の疑いがある方、又は濃厚接触者に該当する方は参加をお控えください。
- ◆ 受講後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は事務局へご連絡ください。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、研修の延期若しくは中止又は開催方法を変更させていただく場合があります。

確認事項

- ✓ 上記の「新型コロナウイルス感染拡大防止のためご協力をお願い」を踏まえ、円滑な研修の運営にご協力をお願いいたします。
- ✓ 開催確定後、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講に関する同意書をご提出いただけます。
- ✓ 研修当日に受講者氏名・住所・連絡先（電話番号等）を記載した「受講者リスト」を事務局宛にご提出いただけます。
- ✓ 本研修において新型コロナウイルス感染症への感染が確認された際は、「受講者リスト」の情報を保健所等に提出する場合があります。なお、その他の目的で第三者への提供はいたしません。

しながわ防災学校

しながわ防災学校は、区民、防災区民組織、事業者の皆さまのための学校です。様々な講義や体験を通じて、防災に関する知識や技術の習得を図り、しながわの地域防災力を向上させる人材として、「しながわ防災リーダー」を育成します。

ホームページ <https://bousaigakkou.city.shinagawa.tokyo.jp/>

f a c e b o o k <https://www.facebook.com/shinagawa.bousaigakkou/>

電 話 03-6380-9062

ファックス 03-6380-9064



ホームページ facebook

主 催 品川区防災課啓発・支援係 (電話 : 03-5742-6696)
 運営事業者 株式会社サイエンスクラフト



令和 4 年度
 しながわ防災学校

地域実践コース

募集案内

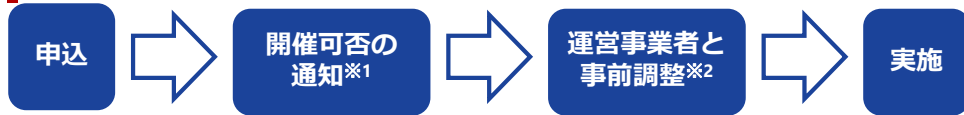
[前期]

地域実践コースとは

防災区民組織が活動するにあたって、必要な知識を習得するためのコースです。講師が地域に出張またはオンラインで、地域の実情に応じた研修を実施します。普段行っている会議や訓練と併せての実施が可能ですので、是非ご利用ください。



研修までの流れ



※1 開催可否の通知は、6月中旬までに事務局よりご連絡いたします。

※2 事前調整は、電話・メール・FAXにより実施いたします。

対象

防災区民組織（防災協議会単位・避難所単位での申し込みも可能です）

※ 応募多数の場合は、抽選となります。抽選結果は6月中旬までに事務局よりお知らせします。

実施概要

実施期間	令和4年6月22日（水）から令和4年9月30日（金）まで
実施時間	平日：午前9時30分～午後8時 土日・祝祭日：午前9時30分～午後5時 ※ 事前準備のため、実施の1時間前から会場を使用いたします。
定員	20～50名程度 ※新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、少人数での実施も可能です。ご相談ください。
開催形式	下記の方法をご用意しています。 ①【集合型研修】 町会・自治会館や区民集会所等、申込団体が手配した会場に講師が伺い、参加者と対面で実施します。 ※会場の確保および会場との研修当日までの連絡調整は、申込団体が実施してください。 ※ワークを実施するメニューの場合、会場の机をグループ形式のレイアウトで研修を実施いたしますので机の確保をお願いいたします。
	②【完全オンライン研修】 講師も参加者もそれぞれの自宅等からパソコン・タブレットで参加します。 令和3年度では、2つの町会で「避難所開設・運営イメージゲーム」を完全オンライン研修で実施しました。
	③【ハイブリット型研修】 講師やオンライン研修が可能な方は自宅等から参加し、難しい方は申込団体が手配した会場に集まりスクリーン等を通じて参加します。 ※Zoomを使用しますので、インターネットにアクセス可能かつZoomのインストールが可能なパソコンやタブレット等が必要です。 ※通信環境は参加者ご自身でご用意ください。 ※参加にかかる通信費などは、参加者の負担となります。 ※オンライン研修は講義時間が短くなる場合もあります。 ※パソコン・タブレットの貸し出しについては台数によっては可能です。ご相談ください。

オンラインでも実施できます！



メニュー一覧

★マークがついているメニューはオンラインも実施可能

No	テーマ	メニュー	概要	形式	時間
1	災害による被害や影響と備えの基本を学ぶ	★ 地域の災害を知る（地震・風水害）	災害（地震・風水害）の被害と影響、日頃からの備えについて学ぶ	講義	1時間
2		★ 首都直下地震に備える	首都直下地震時の被害と影響、避難の考え方（避難場所、経路等）、日頃からの備えについて学ぶ	講義 + ワーク	1.5時間
3		★ 大雨や台風による浸水害からの避難と備え	風水害発生前後の被害と影響、避難の考え方（避難場所、経路等）、日頃からの備えについて学ぶ	講義 + ワーク	1.5時間
4	居住特性や地域特性に応じた防災対策について学ぶ	★ マンションの防災対策	高層マンション特有の災害時の被害や影響、日頃からの備えについて学ぶ	講義 + ワーク	1.5時間
5		★ 木造密集地域の防災対策	木造密集地域特有の災害時の被害や影響、日頃からの備えについて学ぶ	講義 + ワーク	1.5時間
6		津波避難ワークショップ	津波の特性、避難方法や避難の留意事項を学び、今後取り組むべきことについて考える	講義 + ワーク	1.5時間
7	これから防災活動をはじめ	★ 地域の防災活動を始めるための基礎研修	地域の防災力向上に向けて、現在の取り組みを整理し、今後の取り組みについて考える	講義 + ワーク	2時間
8		防災の視点から見た地域の強み・弱みマップづくり	防災の視点から地域を再確認し、防災上の強み・弱みをマップへの整理を通じて理解する	講義 + ワーク	2.5時間
9	災害対応について学び必要なスキルについて身につける	★ 被災者の実体験から災害対応を学ぶ	過去の被災体験談を読み、課題や教訓について検討・整理し、具体的なイメージを身につける	講義 + ワーク	2時間
10		★ 地域の安否確認ルールづくり	安否確認の必要性や手法について、先進事例から学び、現状と今後の取り組みを検討する	講義 + ワーク	2.5時間
11		避難行動要支援者避難誘導ワークショップ（基礎編）	避難行動要支援者の避難誘導（避難支援）の方法や留意事項について避難誘導の体験を通じて実践的に学ぶ	講義 + ワーク	2.5時間
12		避難行動要支援者避難誘導ワークショップ（実践編）	避難行動要支援者に対する地域の組織的な対応の方法と留意事項について避難誘導の対応訓練を通じて実践的に学ぶ	講義 + ワーク	3時間
13	避難所運営について学ぶ	★ 避難所開設・運営イメージゲーム	地域の避難所を確認し、多様な避難者への対応や配慮すべきことについてゲーム感覚で学ぶ	講義 + ワーク	2.5時間
14		★ 避難所運営ルールの検討	避難所に関する過去の課題・教訓を学び、地域の避難所開設・運営時のルール等の改善の方向性について検討する	講義 + ワーク	3時間